

静岡市監査委員協議会 会議録

会 議 令和8年度 第1回 監査委員定例協議会

開催日時 令和8年5月11日（月） 午前9時5分～午前11時45分

出席者 監査委員 深澤 俊昭、白鳥 三和子、宮城 展代、山梨 涉
事務局長 小長井 健司

書 記 花村 章弘

宮崎 あゆみ、見城 央倫、齋藤 升美、上野 貴

青野 洋平、神山 悟、袴田 有美子、谷 梓、保田 崇行

会議内容

1 開会宣言 花村参与

2 例月現金出納検査等（3月分）

花村参与から、事務局で実施した企業会計のつり銭資金等の現金在高検査の結果について、出納事務の重要な点においておおむね正確に行われていた旨の報告があった。また、病院事業会計及び水道事業会計を対象とした棚卸資産実地検査の結果については、おおむね適正に処理されている旨報告があり、各種会計の有価証券等検査の結果については、適正に処理されていることが確認された旨の報告があった。

なお、各検査の実施内容について次のとおり発言があった。

（白鳥委員）

各種会計有価証券等検査について、検査対象に株券とあるが、株券はどのように確認したのか。紙の株券は存在するのか。

（事務局）

紙の株券で存在しているものについては現物を確認し、紙で発行されていないものについては残高証明書等により確認した。

（白鳥委員）

株券そのものを確認したというより、保有している株式の残高を確認したということか。

（事務局）

そのとおりである。

（深澤代表）

それぞれの検査は、対象となるものを全件検査しているのか、又は抽出により検査を実施しているのか。

（事務局）

公営企業会計現金在高検査については、全公営企業会計の前渡資金を対象としており、当該現金を保有する病院事業会計及び水道事業会計について検査した。

公営企業会計棚卸実地検査については、病院事業会計では対象となる薬品が多数あることから、調剤及び注射についてそれぞれ10件抽出して検査した。水道事業会計では、棚卸資産を保管する資材倉庫が市内に複数あるが、今回は南安倍配水場倉庫において10件抽出して検査した。

(深澤代表)

公営企業会計棚卸実地検査では、どのような基準で資産を抽出しているのか。

(事務局)

病院事業会計及び水道事業会計ともに事務局職員が事前に抽出されたリストを基に無作為抽出している。

(深澤代表)

水道事業会計について、施設毎にローテーションを組んで検査を実施しているのか。

(事務局)

南安倍配水場倉庫と船越資材倉庫を1年毎交互に検査している。

その後、宮崎次長補佐から、各会計とも、検査調書に記載されている預金残額と通帳類などの実物を事務局職員が照合した結果、一致していることが確認された旨の報告があった。

例月現金出納検査については、各会計毎に監査委員による説明聴取や質疑を行った(各公営企業会計については、検査調書の説明に先立ち令和7年度決算見込み等の説明がなされた。)

(1) 説明者

ア 各種会計 青野係長(監査第2係)

イ 病院事業会計 清水病院事務局長、清水病院事務局次長、病院管理担当課長

ウ 簡易水道事業会計 水道部長、中山間地水道課長

エ 水道事業会計 経営管理部長、上下水道経理課長

オ 下水道事業会計 経営管理部長、上下水道経理課長

カ 農業集落排水事業会計 農地整備課長

(2) 発言

ア 各種会計

特になし

イ 病院事業会計

(白鳥委員)

令和7年度決算見込(速報値)において、特別損失として計上されている駒越医師住宅跡地に係る約2億2,200万円の減損損失は、土地の鑑定評価額に基づき算出されたものであり、当該額は決算整理において計上されるということでしょうか。

(清水病院事務局長)

そのとおりである。簿価は約3億5,000万円であったが、鑑定評価額が約1億3,000万円であったことから、その差額について、減損損失として決算整理において計上する。

(山梨委員)

駒越医師住宅跡地は売却したのか。また、当該土地にはカルテ庫があったとのことだが、建物は撤去したのか。

(清水病院事務局長)

カルテ庫は撤去済みであり、跡地の売却に向けて動いている。

(山梨委員)

現在、カルテの保管はどうしているのか。

(清水病院事務局長)

別の場所に倉庫を借りて保管している。

(山梨委員)

今後、跡地が売却された場合には、当該額が当該年度の決算に計上されるということか。

(清水病院事務局長)

そのとおりである。

(山梨委員)

資金予算表には、一般会計補助金の当月末日までの執行済額が5億円とあるが、例年一般会計補助金はいつ頃繰り入れられているのか。

(清水病院事務局)

一般会計補助金の額は、決算状況等を踏まえ財政課との協議により決定されるため、例年、一般会計の出納整理期間である次年度5月末に繰り入れられている。しかし、令和7年度は、現金が不足する事態を避けるため2月に5億円を繰り入れられ、残りの7億円は5月に繰り入れられる予定である。

(宮城委員)

外来患者が約14%減少した理由は何か。

(清水病院事務局長)

主な理由としては、脳神経外科と皮膚科の撤退であり、それ以外にも消化器内科、呼吸器内科及び整形外科の3科において大きく患者が減少している。患者数の減少に歯止めがかかっていない。

(深澤代表)

予算執行説明書(支出)において、医療職等確保費が執行されていない理由は何か。

(清水病院事務局)

これは医師への就学資金貸与の経費であるため、決算整理において計上される予定である。

(深澤代表)

予算執行説明書(収入)において、医業外収益の収入済累計額が前年度より増加している理由は何か。

(清水病院事務局)

物価高騰に伴う国庫補助金が約1億8,000万円あったためである。

ウ 簡易水道事業会計

特になし

エ 水道事業会計

(深澤代表)

予算執行表(収入)のうち、営業外収益の他会計補助金、また、資本的収入の他会計支出金について、収入未済額がそれぞれ約8,400万円、約2億円あるが、これらは今後、4月又は5月に収納されるものか。

(上下水道経理課)

そのとおりである。

(深澤代表)

資金予算表の一般会計補助金の欄には、該当月に収入されるものがあれば、金額が計上されるということでしょうか。

(上下水道経理課)

そのとおりである。

(山梨委員)

上下水道庁舎のテナント収入は、どちらに計上されるか。

(上下水道経理課)

予算執行表(収入)では、営業外収益の雑収益に計上される。

(山梨委員)

上下水道庁舎は下水道事業会計との共有資産であると思うが、水道事業会計にまとめて収入しているということか。

(上下水道経理課)

水道事業会計の資産であり、下水道事業会計に貸し付けている。

オ 下水道事業会計

特になし

カ 農業集落排水事業会計

(白鳥委員)

合計残高試算表の総係費借方当月欄について、通常月では2,000万円弱程度だが、当月は4,700万円ほどとなっている。何か大きな支出予定があるのか。

(農地整備課)

修繕費及び年間分の委託料の支払を計上しているため、金額が大きくなっている。

(深澤代表)

決算見込における赤字補填の一般会計補助金額と赤字補填を除いた実質損益について前年度と比較して説明をお願いしたい。

(農地整備課)

令和6年度は、1億8,900万円余を一般会計から繰り入れており、実質損益はマイナスで1億4,580万円余であったが、令和7年度は、現時点において一般会計からの繰入額を1億8,000万円ちょうどで予定している。実質損益についてはマイナスで1億4,826万円余の見込だが、支出内容の精査及び振替を進めることで繰入額はもう少し減るものと見込んでいる。

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第1号 令和7年度各種会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

深澤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

イ 協第2号 令和7年度井川財産区会計及び両河内財産区会計歳入歳出決算審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

深澤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

ウ 協第3号 令和7年度決算に基づく財政健全化審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

深澤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

エ 協第4号 令和7年度決算に基づく公営企業経営健全化審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

深澤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

オ 協第5号 指摘事項に対する措置状況（行政監査（テーマ監査））の公表について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

措置状況の公表について、監査委員の了承が得られた。

カ 協第6号 指摘事項に対する措置状況（包括外部監査）の公表について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

措置状況の公表について、監査委員の了承が得られた。

(2) 報告事項

ア 報第1号 代表監査委員の職務を代理する監査委員の指定について

(ア) 説明者

深澤代表監査委員

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

イ 報第2号 静岡市監査委員情報セキュリティ対策基準の策定について

(ア) 説明者

宮崎次長補佐

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

ウ 報第3号 内部統制の不備（令和8年3月分）について

(ア) 説明者

宮崎次長補佐

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

(3) その他連絡事項

ア 財政援助団体等監査結果報告に基づく措置状況の訂正について・・・青野係長が説明

イ 令和7年度第12回定例協議会会議録の公表について・・・・・・・・宮崎次長補佐が説明

ウ 5月・6月の日程について・・・・・・・・花村参与が説明

4 閉会宣言 花村参与